

精神医学領域における研究推進のロードマップ

動物・分子起点の
基礎研究

患者起点
の臨床研究

- ①ポピュレーションニーズの把握と分析
- ②研究ニーズの把握と分析（先行研究/エビデンスの詳細な分析）
- ③研究計画の立案と正当性の評価
- ④行政ニーズ（費用対効果、一般化可能性）の把握と分析

現状

5年後

10年後

病態仮説から新規治療法を開発（統合失調症の例）

薬理候補物質に対する診断・研究技術開発
例：NMDA受容体グリシン結合部位PETリガ
ンドの開発

ヒトでの病態解明と診断法開発
例：統合失調症のグルタミン酸神経ネッ
トワーク解明、治療候補の探索

新規治療候補の開発
例：治療候補物質の開発と最適化、
および臨床試験の実施

臨床仮説から新規治療法を開発（うつ病の例）

臨床症状の観察と関連要因の探索
例：うつ病の発症脆弱性と難治化に関連する
神経伝達物質・神経ネットワークの探索

臨床症状の動物モデル・臨床仮説の作成
例：うつ病のグルタミン酸/GABAおよび
セロトニン神経伝達異常モデルの作成

新知見の臨床応用
例：神経伝達物質の脳内分布、脳機能と臨床
症状の因果関係検討、新規治療候補の開発

既存の治療法から新規モデルの提唱（発達障害の例）

既存の治療法の作用機序・病態仮説の提唱
例：臨床症状と治療反応性からのドーパミン
神経作用機序に関する仮説の提唱

動物モデルの作成と病態仮説の検証
例：ドーパミン等関連物質・神経ネッ
トワーク仮説の検証、新規治療候補の開発

新知見の臨床応用
例：新規治療法開発と臨床試験によるエビデ
ンスの確立

診断・治療の最適化と均てん化（自殺対策の例）

既存の診断・治療法の発展的利用
例：プライマリ・ケアでの簡便なうつ病診断
法・効果的治療法の開発、戦略研究の実施

診断・治療法の最適化・標準化
例：エビデンスの確立による診断・治療
プロトコルの最適化・標準化とガイドラ
イン策定

新規標準化診断・治療法の均てん化
例：最適化標準化診断・治療プロトコルの均
てん化、効果的な自殺対策の実施

政策的研究（地域精神保健の

機動的治療法の確立
例：地域支援モデル・退院促進モデル、精神
科救急モデルの確立

実施可能性の検討
例：阻害・促進要因の検討と問題解決、
モニタリング、対費用効果の検討

エビデンスをふまえた精神保健政策の実現
例：より効果的な地域患者支援、精神科救急
システムの実現

研究の支援機能の基盤整備

人材育成（評価者、データマネジャーの育成等）、研究プロトコル策定の支援、生物統計家と精神医学専門家との協働
大規模コホート研究の支援、ゲノム疫学研究/個人至適化治療の開発支援、バイオインフォマティクスバンクの運営 等

実験的

実践的

